

グループホーム たんぽぽの家

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------|--|-------|---|
| ・理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | | 一、地域に根ざしたサービス提供 一、心にやさしいサービス提供 一、きめ細やかなサービス提供 との法人の理念を元に事業所独自の理念を作っています。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | グループホームに関わる法令の意義を理解し、これを事業理念、運営理念の形で具体化し、パンフレットに掲載、また、ホームの見えやすいところに明示するとともに、介護従事者に日常的に話しています。入居者及び家族への対応について、運営理念を心がけ対応させていただいています。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | | 身近に事業所の理念を理解していただけるように、たんぽぽ色を額縁に施し、目に付く位置に、事業理念を掲示しています。また、職員が出入りのたびに目に留め、業務やご家族、地域の方々への対応に努めています。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | | ホームの行事については、施設の外に掲示板を設置し、その場所に掲示し、お知らせまたは声掛けしてお誘いしています。散歩時には、隣近所の方々よりお花を頂いたり、公園内で会話しています。また、公園で遊ぶ子供たちは気軽に施設に立ち寄っています。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | | 各種行事に参加することの中で、地域の一員として協力できる事を見つけていきたいと思っています。(地域開催の夏祭りでの出店のお手伝いなど) |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|-----|---|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | ホームでの演奏会等の行事を地域に広報していくことにより、地域の高齢者の方にも気軽に立ち寄っていただける雰囲気作りを行っています。 | | より地域の方との交流が出来るよう積極的に広報活動にも取り組んでまいります。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価及び外部評価により明らかになった課題につき、改善を行っています。 | | 毎年の外部評価、自己評価をもとに更なる業務改善を行っています。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 多様な内容について話し合い、様々な助言、体験談などを聞かせて頂き、その意見を参考にして業務の改善に努めています。 | | 参加して頂く方々の幅を広げ、いろんな分野で話し合い、サービスの向上へ繋げています。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進協議会以外での交流は持っていない状況があるので、市町村開催の催し物などに積極的に参加している。 | | 今後、市町村との連携を蜜に出来るよう、積極的に検討、交流を図れるよう努めていく。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 施設内での定例会で研修したり、その他の研修会に参加した者が定例会で発表して全職員が学ぶようにしています。 | | 成年後見人制度を平成19年10月頃より、手族き開始しました。平成20年3月後見人の方が決定して、もう一人必要と思われる方の状況を把握してご本人の説明を現在、行っています。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修または他の研修に含まれている虐待防止についても、定例会などで職員に周知徹底を行っています。 | | 職員及び非常勤職員にも研修参加を促しています。自己での研修も案内して虐待防止の周知徹底をしています。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|------|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居時に明確な説明を行っています。また利用者、家族のメンタル的なケアも行っています。</p> | | <p>利用者、ご家族との信頼関係も築き、退去時に不安が残らないよう、その方の望みに沿うよう支援を行っている。</p> |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>言葉で表せないこともあるとして、表情、行動、感情から観察して積極的に話せる雰囲気作りを心がけている。</p> | | <p>気の合う職員と一対一でゆっくりと話せる雰囲気と環境作りにもこれからも努めていくようにしていきます。</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>健康状態については必要に応じて面会時または電話にて報告を行っています。金銭管理については補充時に出納帳で確認して頂いています。写真にてそれぞれの生活ぶりを見て頂いて説明しています。</p> | | <p>面会時、常に状況の説明を行っています。写真での説明は「ご本人の表情」がよくわかることから喜ばれています。金銭管理については、補充時に出納帳の写しの希望などを聞いて必要に応じてお渡ししています。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>苦情などの意見箱を玄関入り口に設置しています。外部よりの意見を受け入れられるようにしています。気軽に持ち帰ってから投書できるように封筒(切手添付、宛名入り)を設置しています。現在、利用実績はありません。</p> | | <p>気軽に持ち帰って投書できるように対応しています。またご家族へ送る「便り」の中へ同封して投函できるようにしています。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>毎月、定例会にて意見を集約しています。次回の定例会までに話題に挙げることを指定用紙に記入して、事前にわかるようにしています。</p> | | <p>定例会で意見交換ができるようにし、日常のケアに反映できるように努めています。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>状況に応じて時間調整を行っています。勤務体制は比較的柔軟に作成されており、話し合いでの勤務調整(希望)や緊急時の出勤の話し合いもできています。</p> | | <p>利用者本位のホームの運営を基本として、状況に応じた柔軟な勤務体制作りを今後も継続していくよう努めていきます。</p> |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>馴染みの職員が退職する時は、きちんと利用者に説明を行って、フォローをしています。就職時については、必ず馴染みの職員が間に入ってコミュニケーションを図っています。</p> | | <p>働きやすい環境体制を整え、精神面でのフォローをしています。ケアする側のストレスケアを管理者、施設長と研修にて学んでいくように努めます。</p> |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------|--|--|------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p> | 採用に当たっては年齢、性別により対象から排除することはありません。また、職員が働きやすい環境、体制作りをしています。休みは希望通りに、ほぼ実施されています、 | | 休み希望ノートを作成し、それに応じて対応しています。 |
| 20 | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p> | ホー内の研修にて、啓発の活動を行っています。 | | 他の機関での研修に参加し、参加した者がホーム内研修として他の者へ周知していくことを定例会で行っています。不参加者は定例会記録ノートを見る。またはプリントの配布をしている。 |
| 21 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | 業務としての研修、希望参加の研修などを職員間の回覧で伝えている。 | | 介護に対する自己評価や研修の参加で、自己の質の向上に向けて取り組んでいます。 |
| 22 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | グループホーム協議会に加入し、勉強会に参加したり、研修時に他のグループホームへの見学を申し入れたりして実施しています。 | | 多数の施設見学によって交流を深めたり、他事業所に学ぶ事によりサービスの質の向上を図っていきます。年に数件の他事業所の見学を計画していきたいと思っています。 |
| 23 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | 業務分担の改善、働きやすい環境作りで職員にかかるストレスを防いでいます。 | | 有給休暇の活用でリフレッシュ休日の実施を検討しています。マニュアルを活用して業務分担の見直しを必要に応じて行っています。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------|--|
| 24 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>運営者がほぼ毎日ホームへ来所し、管理者や職員個々の状況の把握、利用者の状況に努めています。状況に応じては種々の相談に応じています。</p> | | <p>職員間、職場から外れて、話せる空間(2F)の活用をしていきたい。</p> |
| <p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> | | | | |
| <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p> | | | | |
| 25 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p> | <p>環境の変化に戸惑って生活を始める不安を解消できるよう、日常生活の流れを一日の始めに説明を繰り返しています。穏やかな生活へと援助しています。</p> | | <p>環境の変化に戸惑って生活を始める不安を解消できるよう、日常生活の流れを一日の始めに説明を繰り返しています。穏やかな生活が送れるよう援助していきましょう。心掛けていきます。</p> |
| 26 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p> | <p>相談に対しては丁寧に対応し、相互理解と信頼関係が築けるように努めています。</p> | | <p>相談に対しては丁寧に対応するとともに、相互理解と信頼関係が築けるように密な連携を図れるよう、努めています。</p> |
| 27 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>本人とご家族が望む生活をじっくりとよく聴く時間を作っています。その上でサービスを見極めて対応しています。</p> | | <p>利用者のご家族が望む生活が送れるように、コミュニケーションを図り、その上で個々のサービスを見極めて対応できるように努めていきます。</p> |
| 28 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>平成19年3月以降、利用者の入所はありません。</p> | | <p>急な入所にならないよう、十分な訪問または数度の体験入所を行い、利用者のもっとも適した時を入所日となるよう柔軟な対応を心がけています。</p> |
| <p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p> | | | | |
| 29 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>日常生活の中で、それぞれ役割を持っている個々の個性を考慮しつつ、対応しています。共に食事をし、共にお茶タイムをしながら、穏やかな雰囲気の中で日々を送っています。</p> | | <p>家族のような生活、利用者との意見の違いでのトラブルも喜怒哀楽を共にするという意味を考えていく。その時は、職員が対応し、相互が穏やかになれるよう管理者、施設長が心がけています。</p> |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|---|--|------|---|
| 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 日常生活を共に過ごし、食事の準備、掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみ、お茶碗拭きと生活の中の役割をお互いに助け合っているよう支援しています。 | | その時、その時の表情を数多く写真に残して、その方の穏やかな生活が続けられるようにアルバム作りに取り組み、仕事で忙しいご家族にも利用者の生活を伝えることで喜びを共に感じてもらえるようにしています。 |
| 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 月間の行事をお伝えするようになっています。誕生日会、家族会、夏祭り、遠足など共に楽しめるように連絡をしています。体調の変化はもとより早期対応に心がけています。 | | 施設内の行事を含め、様々な催し物の案内をご家族の皆様にご連絡することを心がけて行っています。 |
| 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 利用者一人一人の生活歴の聞き取りを続けて新たな情報を見つけるように努めています。 | | 同じ聞き取りに関して、不明瞭な部分があるため、時間をかけての聞き取りに努めていきたいと思っています。 |
| 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 好みの趣味で会話を広げたり、時には介入することで、一人の時間をゆったりと過ごすようにします。また、合同の作品作りで協力する事で良い人間関係作りを支援しています。 | | 体調不良で休んでいる利用者を見舞い元気づけられている。(ホーム内、入院先など) |
| 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 新しい環境に慣れるまで必要に応じて、利用者及びご家族との関わりを重ねています。 | | 新しい環境に慣れるまで必要に応じて、利用者及びご家族との関わりを重ねています。 |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 35 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居前後、利用者またはご家族より意向を伺い、生活に反映できるように努めています。 | | 利用者、ご家族との会話を密に行うことによって、新しい情報を得て、より一層、生活に反映できるように努めていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|------|---|
| 36 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族の尋ねる事はもとより、必要に応じて元ケアマネージャーからも情報収集しています。また、利用者より日々会話の中より聞き取りにて引き出すことに努めています。 | | 心の奥にある思い、自分でも忘れていた思いを引き出せるよう会話しています。または、会話の中にある思いを見逃さないように努めています。 |
| 37 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | どのようにその日を過ごし、どんな表情であるか細かく記録しています。 | | 正確な記録を行い、利用者の実際の言葉で記録し、状況が伝わりやすいように努めています。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 38 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護保険更新時やその他随時、サービス担当者会議を実施し、介護計画に反映しています。 | | 今後も様々な角度からの意見の集約に努め、より良いサービス提供を介護計画に反映していきます。 |
| 39 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 状況に変化が発生した場合など、必要なときに随時サービス担当者会議を実施し、介護計画の変更を行っています。 | | 変更時は利用者の方の変化に重点をおき、介護計画に反映しています。 |
| 40 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別介護記録にその日の状況や暮らしぶりの記録を行っています。職員間で情報を共有する為に、個別の申し送りノートで改善に努めています。 | | 些細な情報も見逃さないように努めています。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 41 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者の状況を把握し要望によって、法人内の他事業所との連携を図りながら、対応できるように努めています。 | | 利用者本位のホーム運営を行うためにこれからも本人やご家族の意向をもとに柔軟な対応を心がけています。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 42 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 消防署・警察署へ利用者名簿を提出しています。入退去者の移動時は、新しい名簿を提出しています。ボランティア依頼の声掛け、文化センター、教育機関などの支援を受けています。学校の行事、文化センターの催しにも参加させて頂いています。 | | 教育機関は現在、小学校のみになっています。地域の保育園や中学校などの関わりも今後、取り組んでいきたいと思っています。特に、中学生、高校生のボランティアの受け入れなどを行っていきたくと思っています。 |
| 43 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 利用者、ご家族の意向をもとに関わりのある機関への相談または医療関係への相談をして他のサービスの利用を支援しています。 | | 退院後の体力の低下向上に向けての訪問マッサージの利用を検討しています。 |
| 44 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 成年後見制度を平成20年3月に決定しました。 | | 現在、成年後見制度の補佐、補助に該当されると思われる方への説明をしています。 |
| 45 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期的な受診、主治医の往診の連携はできています。時間外での対応も可能であり、自宅の電話、携帯電話への連絡も許可して頂いています。 | | 今後も医療機関を中心にかかりつけ医と連携を密に行い、利用者が適切な医療を受けられるように努めていきます。 |
| 46 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 利用者に認知症の進行が認められた場合は、かかりつけ医に報告、相談の上、必要があれば、専門医への紹介を依頼するようにしています。 | | 医療機関とのネットワークを広げ、利用者がより適切な医療を受けられるように努めていきます。 |
| 47 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 協力医療機関の看護師が主治医の休みまたは連絡が取れない時など相談に乗ってくれています。(個人の携帯電話への連絡も可能です) | | 今後も協力医療機関を含めて、主治医及び看護職員とのネットワークを広げていきたいと思います。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|--|------|--|
| 48 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 医師、看護師ともに情報を共有できています。入院時、頻回に面会し、その後の情報を取得し、情報を共有するように努めています。 | | 情報の共有はもとより頻回の訪ねる事で、入院時の不安感を取り除き、帰れる場所があることを感じてもらっています。 |
| 49 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現在、常勤の看護職員がいない状況ですが、主治医、看護師を含めて、ご家族と話し合いを始めています。 | | 今後、ご家族の思いも含めて検討中。 |
| 50 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 現在、検討中。 | | 一度の話し合いでなく、繰り返し話し合うことの中より、最も良い方針を見極めるように努めています。 |
| 51 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 退去前に家族や主治医または転居先の職員と協議を行い、本人が混乱しないよう対応しています。 | | 今後とも、最新の注意をし、利用者に混乱がないように努めていきます。 |
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 52 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者の意向を尊重し行っています。声かけの際には、語尾が強くなるよう指導しています。個人情報の取り扱いに関しては細心の注意を払い、取り扱うようにしています。 | | 生の尊厳を常に心がけて接するようにし、個人情報の記録等の管理については今後も細心の注意を払っていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|-----|--|
| 53 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している | ゆっくりとした時間作り、思ったことが言える環境作りを心がけています。散歩へ誘い、公園のベンチにてゆったりとした時間の中で会話し、話を聞くようにしています。 | | 利用者が思いや希望を表現しやすいような環境作りを今後も配慮していきます。 |
| 54 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 決まり事もそれぞれその日が来るまで、楽しみにされている事が多い。「毎日やったかね?」と聞かれる。それに答えて会話が広がるように努めています。 | | 行事やその日の役割などの参加、不参加は希望に添って、対応しています。無理強いせず、気持ちを大切にすることを心がけています。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 55 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 地域の理髪店の方が出張してくれていますが、利用者とのコミュニケーションも良好です。望むお店へ行きたい希望時に対応できる体制にあり、(予約制)八幡東区の中央町などに行っています。 | | 女性の利用者に対して、高齢者向けメイクングを検討しています。(ボランティア)実施日、連絡待ちです。 |
| 56 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 準備の際に、何を作り、出来上がるのか説明し、作る楽しみと出来上がった時の嬉しさを支援しています。ホールで皆様、一緒にします。台所でゆっくりと職員と二人するなど、個別に対応しています。 | | 一人でも多くの利用者が食事の準備などに関わり、作る楽しみができるように、今後も支援していきます。 |
| 57 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | メニュー表にてその日に好みの物が味わえるように対応しています。いつも統一した物ではなく、菓子盆に盛り合わせて好みの物を選んでもらっています。 | | 個別に嗜好を把握しています。 |
| 58 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 状況の把握を職員間で共有しており、気づいたことを一人で決定せず、利用者の意見も取り入れて対応しています。 | | 職員間で利用者の情報を共有し、気づいたことを職員間で話し合うことで携わった一人が決定せず、利用者の意見も取り入れて対応していくよう努めています。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------|--|
| 59 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日、時間帯の取り決めはしていますが、入居者の希望により随時、対応しています。 | | 入居者ごとに曜日、時間帯の取り決めをしていますが、入居者のその日の状況に応じて、対応できるように心がけています。 |
| 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 一人一人の習慣や健康状態に応じて、声かけ、誘導し、臥床してもらっています。 | | 安眠できるように、声掛け、誘導するなど利用者一人一人への気配りに今後とも努めていきます。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 61 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 面会時など、ご家族に積極的に声をかけ、情報を集め、職員間で話し合い、利用者本人が楽しめることや、興味があることをして頂けるように援助しています。 | | 入居者の皆さんが、施設での役割、楽しみごとが見出せるように今後も、ご家族および職員間での話し合いを持っていきます。 |
| 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を所持している入居者は希望があればいつでも買い物、銀行に付き添って行っています。所持していない入居者にも、定期的買い物ツアーまた、近所のスーパーでお金を使う機会を作っています。 | | 各商店またはデパートなどの事前の調査を行い、買い物ツアーの機会をもう少し取り組んでいきたいと思っています。 |
| 63 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候の悪い時を除き、ホーム前の公園に散歩しています。散歩は入居者の日課となっています。また、散歩が難しい入居者は庭に出て、日光浴をもらい、外気にふれる機会を作っています。 個別の外出については、当日は難しいので、数日前に申し出てもらい、実施できるようにしています。 | | 施設の前に、手頃な公園があり、開設時より散歩を入居者の日課として取り入れており、地域の方々との交流も図られています。 |
| 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 地域の催し物に参加し、北九州の名所見学なども積極的に行っています。ご家族への参加も声をかけていますが、今のところは、ご家族の皆様が多忙なため、参加されていません。 | | ご家族が気軽に参加できるように、これからも、ご家族とのコミュニケーションを大切にいきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----|--|
| 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話については本人の希望があればすぐに利用できるように対応しています。手紙については、ご家族の年賀状や暑中見舞いに一言自筆で書いて貰っています。 | | 今後も、入居者の方々がご家族などに連絡できるよう支援していきます。 |
| 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時間の制限をしていませんので、気軽にご家族、知人が来所して頂けるようにしています。また、職員全員が挨拶し、声かけをするようにしています。 | | ご家族、馴染みの知人などが気軽に来所できるような環境作りに努めていきます。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 定例会で身体拘束について勉強会をしています。現在、夜間サイドガード使用中の入居者について、少しでもサイドガードをする時間を短くするにはどうしたらよいか、話し合っています。 | | 今後も、運営者及びすべての職員が定例会および研修会などに積極的に参加し、身体拘束廃止に積極的に取り組んでいきます。 |
| 68 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関に貼り絵をしたり、ホールに必ず職員がいるよう工夫し、見守りを行い、鍵をかけないようにしています。 | | 開設時より、日中の玄関、居室などの鍵はかけずに、見守りをするように心がけてきました。今後も、鍵をかけないケアに努めていきます。 運営推進会議で離設時の対応について話し合い、町内会長、民生委員が離設時に協力してくれることになっています。 |
| 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 一人一人の性格や行動パターンを把握し、声掛けがストレスにならないよう、見守りをしています。 | | 入居者一人一人の性格や行動パターンを把握するとともに、職員全員が勤務交代時にその日の生活状況および体調などについて申し送りし、入居者への声掛け、見守りをするように今後も心がけていきます。 |
| 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 物品をなくす前に、職員間で情報を共有し、見守りに気をつけたり、物品を使用する時間帯を決めたり、職員が預かり、使う時は声をかけてもらい、渡すようにしています。 | | 今後も、物品が紛失しないように、職員間での情報の共有および対応について、常時、話し合っって対応していくように努めていきます。 |
| 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 半年に一度、避難訓練を行っています。転倒、窒息、誤薬、行方不明については、定例会での勉強会他、マニュアルを作り、ホーム内に掲示し、各自が随時、確認をするようにしている。 | | 災害・事故防止については、定期的に全入居者および全職員で平時より、施設内の掲示、また、日常の行動の中で、意識高揚に努めていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|---|
| 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 定例会で定期的に行っています。また、事故や突発的な事があった時は、後日、カンファレンスをし、対応について話し合うようにしています。 | | 消防署などの連携を図り、今後はもっと専門的な分野の勉強をしていくように努めていきます。 |
| 73 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 運営推進会議で町内会長、民生委員の方に協力して頂けるようになっています。 近隣の店舗との交流を図り、災害時の協力をお願いしています。 | | 近くに入居者がよく利用する24時間のコンビニエンスストアもあり、災害時などに協力をお願いをしていきたいと思っています。 |
| 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 面会時には、ご家族に入居者の現在の状況を話し、今後のホームの対応など相談しています。また、ご家族や入居者本人の希望、意見を聞いています。 | | 入居者一人一人に起こり得るリスクについては、ご家族とよく現況について丁寧に説明し、対応策について説明していきます。その際、必要に応じて同意書などを作成し、了承を得るように努めていきます。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | バイタル測定は基本的に1日2回行い、気づいた事は、職員間で報告し合い、申し送り時に必ず伝達し、様子を観察するようにしています。必要に応じて、かかりつけ医に相談しています。 | | 今後も、一人ひとりの体調の変化や異変については、つぶさに記録するように努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、かかりつけ医に相談したり、対応に結び付けていくように努めていきます。 |
| 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書をファイルし、定期的に確認するようにしています。薬の変更時は、申し送りの時に確実に情報を共有しています。 | | 誤薬などの事故が起こらないように、入居者一人一人の個別の薬ケースを用意し、服薬の間違いを起こさないようにします。また、薬の変更時は、確実に職員間で申し送りをするようにしています。 |
| 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 薬に頼りすぎにならないように、食材や食べ物の刻み方、水分と食物繊維を摂るように心がけています。また、散歩やポールレクリエーションで体を動かすようにしています。 | | 今後も、入居者の日常の排泄などについては、注意、観察を怠らないように心がけていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|------|---|
| 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後、声かけ、介助をして口腔内の清潔保持のため、歯磨きを実施しています。また、かかりつけ歯科医に定期的に往診してもらい検診してもらっています。 | | 口腔内の清潔保持のため、歯磨きの実施など今後も徹底して行っていきます。また、今後もかかりつけ歯科医に定期的に往診してもらい検診してもらっています。 |
| 79 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食欲や水分摂取量が落ちてきた入居者に対して、本人の好きな物を用意し、少しでも食べたり、飲んだりできるよう援助しています。また、ご家族にも面会を依頼し協力をお願いしています。 | | 入居者一人一人の栄養摂取および水分摂取量などの状態がわかるように記録していくことに努めていきます。 |
| 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルを作成し、定例会で確認をしています。ホーム内にも感染症予防についてのマニュアルを掲示しています。また、入居者に、毎食後のうがい、手洗いの声かけをしています。 | | 感染症予防のため、玄関にも消毒できるようにしています。 |
| 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | マニュアルを作成し、ホームの台所に掲示しています。 | | 今後も、食の安全のため、新鮮な食材の購入と使用に努め、食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理に努めていきます。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周辺の掃除を入居者と一緒に行い、近所の方に会うと、積極的に声をかけるようにしています。また、季節の花や野菜を植え、家庭的な雰囲気を大切にしています。 | | 入居者やご家族、また、近隣の人などにとって親しみを感じていただけるように玄関に花壇を設置したり、入居者と一緒に水遣り、掃除などを行っている時に、気軽に近隣の人達に挨拶したり、声掛けするように心がけています。 |
| 83 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールの壁に毎月、季節に合ったテーマで壁画を入居者と一緒作り、飾っています。テレビの音やソファー側窓からの光に対しては、入居者の希望に添い、ブラインドなどで対応しています。 | | 日中は入居者のほとんどの方が、ホールで過ごす為、今後も、少しでも居心地の良い空間になるように環境作りに努めていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|--|------|--|
| 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 廊下や玄関にベンチを設置し、対応しています。また、台所に入り、気の合う職員と過ごせるようにしています。 | | 施設自体が家庭的な雰囲気を重視した民家のスペースのため、広い建物ではないので、様々な空間を作るには限界がありますが、その中で入居者が、共用する空間でゆったりと過ごせる空間が確保できるように、今後も努めていきます。 |
| 85 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ベッド、エアコン、タンスは備え付けのものがありますが、それ以外は入居者の使い慣れたものを持ち込んでもらっています。居室内が淋しくならないように、写真や手作りのカレンダー、お祝いのカードを飾っています。 | | 今後とも、入居者が日々、楽しく、喜んで暮らせるように居心地の良い居室であるように、全職員が配慮していくことに努めていきます。 |
| 86 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 朝の掃除の時に換気を行い、食事中は換気扇を使用しています。ホール内に温度計を設置し、目安とし、温度調節を心がけています。 | | こまめな換気、温度調節は、入居者にとって大切な体調管理の一つであるとの自覚で全職員が取り組んでいくよう努めていきます。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ホール、浴室、トイレ等、要所に手摺りを設置し、入居者が極力、職員の介助なしに自立した生活が送れるよう配慮しています。 | | 自立支援の介護であるとの基本的な考え方を重視し、施設内の環境作りに、今後も取り組んでいきます。 |
| 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 居室やトイレには目印となる看板を設置しています。また、わからない時は、さりげなく声をかけるようにしています。 | | 全職員が入居者一人一人の生の尊厳を念頭に置いて、わかる力を活かせるような環境作りに心がけていきます。 |
| 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関ポーチや中庭に花や野菜を植え、入居者にも世話をしてもらっています。散歩に行くのが難しい入居者には、庭や玄関ポーチで日光浴を楽しんでもらっています。 | | 建物の外周の活用も今後、考えていくようにしていきます。 |

グループホーム たんぽぽの家

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 90 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 91 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 92 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 96 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 97 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

グループホーム たんぼぼの家

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 100 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

平成20年8月より共用型認知症対応型通所介護を開設し、地域に根ざしたサービス提供として、新たに第一歩を踏み出し、地域の方々が一人でも多く、「たんぼぼの家」で過ごし、また暮らしが自分らしく感じて頂けるよう取り組んでいきたいと願っています。今は「たんぼぼさん」と呼んで頂いていますが、利用者9名の方が一人一人「名前」で呼んでいただけるよう地域の方々と密な連携を図り、施設行事に積極的に参加して頂けるように取り組んでいきます。開設以来3年が経過し、これからは職員の技術、知識などの質の向上に向けて数多くの研修に参加し、意識を高めていくよう努めて行きます。また、職場が苦痛な場でなく、働きやすく利用者への配慮ができるよう、互いに介護する者として、相談し合えるような場となるように管理者、施設長が働く者へのストレスケアについても研修に参加し、対応できるようにしていきたいと思っております。